



自治行政局行政課

千葉 菜苗

Chiba Nanae

平成27年 4月 総務省採用 自治行政局公務員部公務員課  
給与能率推進室

平成29年 4月 高知県総務部市町村振興課

平成30年 4月 同 財政課

平成31年 4月 現職

## 地域のために霞が関でできること

### これからの時代の地方行政のあり方

自治行政局行政課では、地方公共団体の組織及び運営に関する基幹的事項を定める地方自治法を所管し、その規定する内容は国と地方の役割分担の原則や、地方公共団体の事務・権能、地方議会、財務など多岐にわたっています。

地方自治に関して、法改正を通じた全国的な課題の解決から、法令解釈を通じた地方の現場の課題解決まで様々な検討を行っています。また、地方自治に影響を及ぼす国の政策立案に関し、関係府省と調整を行うことも重要な仕事のひとつです。

人口減少社会に直面している中、地方行政のあり方にも変化が求められています。住民に身近な行政サービスを提供する主体である地方公共団体が、限られた資源を効率的に配分していくために必要なことは何か、デジタル技術が発展した時代における国と地方の役割分担とは何か、多角的な視点を持ちながらこれからの時代に必要な地方行政のあり方に関して、日々議論を重ねています。

### 大切な場所が増えていく仕事

高校の卒業式を終えた数日後に地元の岩手県で東日本大震災を経験し、必要な行政サービスを必要とする人へ届けることがいかに重要か痛感しました。自分の生まれ育ったところだけではなく、一つ一つの地域の暮らしを守っていききたい、そう思い総務省に就職しました。

初めて赴任した高知県では、これまでとは違う文化に触れ、自然溢れる県内の様々な場所を巡りました。緑もゆかりもない地域が、「この地域のために何ができるのか」を考え、自分の仕事の成果を還元していく場所へと変わりました。地域を思い仕事を進めることは、いま霞が関で仕事をするうえでも、一番大切にしていることです。

自分を成長させてくれた地域により良い行政サービスを届けるために働く、そういった気持ちを持った職員が総務省にはたくさん居ます。様々な場所での「地域のための仕事」を通じ、全国各地に大切な場所が増えていく、それが総務省で仕事をする魅力だと思います。

## PRIVATE TIME

車を運転することが好きで、休日はドライブに出かけて気分転換をしています。最近では、関東近郊のキャンプ場に車で行き、静かな環境でお酒を飲みながら焚き火を眺めてゆっくり過ごしています。休日は自分の好きなことを思いっきり楽しむことで、平日の仕事にもっと向き合えるようにしています。

## WEEK SCHEDULE

### MONDAY

今週末の研究会の開催に向けて、資料や会場設営の準備を進めます。

### TUESDAY

本日はテレワーク勤務。他省庁からの相談について、自宅で対応方針を整理します。

### WEDNESDAY

翌日の国会における、総務大臣答弁の作成が発生。迅速かつ丁寧な作業を心がけます。

### THURSDAY

整理した対応方針について課内で協議し、上司の了解を得たうえで他省庁に回答します。

### FRIDAY

研究会をオンラインで開催。大きな問題も発生せずに無事に開催でき一安心です。



自治財政局調整課地域財政係長

## 鈴木 一駿

Suzuki Kazutoshi

平成24年 4月 総務省採用 消防庁総務課  
 平成25年 4月 同 自治税務局都道府県税課  
 平成26年 4月 岡山県県民生活部市町村課  
 平成28年 4月 総務省大臣官房会計課  
 平成30年 4月 同 自治財政局財政課総務室人事係長  
 併任 予算係長  
 令和2年 4月 現職

## 地方財政を通じてより良い日本を創る

### あらゆる政策が集まる場所

医療、介護、教育、インフラの整備など住民生活に密接する行政サービスのほとんどを地方自治体が担っています。そして、日本のどこに住んでいても一定水準の行政サービスを受けることができるよう必要な財源を確保することが、自治財政局の使命です。

中でも、私が所属する調整課の役割は、各省庁が行う政策の財政負担について、国と地方の役割分担を踏まえて、どちらがどれだけ負担するか「調整」し、その上で、地方自治体の財政負担を軽減するため、どのような地方財政措置を講じることができるか検討することです。各省庁が行う政策のほとんどは地方自治体に関係するため、調整課には霞が関のあらゆる政策が集まります。新型コロナウイルス感染症対応はもちろんのこと、地域社会のデジタル化、保健所の体制強化、災害への対応…このように新聞やテレビで報道される政策が一つの課に集まり、日々、様々な議論が飛び交う、霞が関でも大変珍しい職場です。

### 信念を持って政策を実現する

平成30年7月に西日本を襲った豪雨により、農業用水を貯めておく「ため池」が決壊し、幼い子どもが流され亡くなるという痛ましい災害が発生しました。私は農林水産省の政策を一手に引き受ける調整課の担当として、この「ため池」の防災対策を強化するために、どのような措置を講じることが適当か検討する立場にありました。いつ発生するか分からない自然災害に対応するためには、迅速に対策を検討し、実行に移すことが必要です。議論が行き詰まった時には、状況を打開するため、総務省がホストとなり関係大臣（総務大臣、農林水産大臣、内閣府防災担当大臣）による会合を開催するなど、高いレベルでの議論も行いました。最終的には、様々な場で議論を重ね、迅速に防災対策を進めることができる良い制度を創設することができました。このように、自分が地方財政のプロとして、省庁とともに政策を実現し、より良い日本を創ることは、非常にやりがいのある仕事でありますし、それができるのが総務省という職場です。

## PRIVATE TIME

すっかり「巣ごもり」という言葉が定着しました。外に出たくて仕方のない娘（2歳）に家用のジャングルジムを買ってあげたところ、とても気に入ったようで、朝の仕事前でも、夜の仕事後でも、「こっちきて、こっちきて」と手を引いてジャングルジムに連れて行かれます（笑）。家族と過ごす時間があるからこそ、仕事を頑張れます。

Q 総務省を志望した理由は何ですか？

A 「スケールの大きな仕事」がしたかったからです。国があって地方があるのではなく、地方があってはじめて国が成り立つわけですから、地方の仕組みを変えれば必ず国が変わります。そんな思いから総務省を志望しました。また、地方自治体への出向を経験できることも大きな魅力でした。「総務省」というのは、名前から業務内容がイメージしにくい職場です。少しでも総務省に興味を持たれた方は、まずは、ぜひ一度話を聞きに来てください。たくさんの魅力をお伝えしますよ！

Q 入省後、成長したと思うことは何ですか？

A 物事を多面的に考えるようになったことです。入省したばかりの頃は、とにかく目の前の仕事を全力でこなすことに精一杯で、一つの目線で物事を見ていたように思います。今では、地方自治体への出向経験も活かしながら、「こうしたらこの人が困らないか」、「こうしたらもっと良くなるのではないか」など、いろいろな角度で物事を考え、日々の業務に取り組むことができています。





自治税務局市町村税課住民税第一係長

武田 直人

Takeda Naoto

平成19年 4月 総務省採用 大臣官房秘書課  
 平成20年 4月 同 自治行政局地域振興課  
 平成21年 4月 兵庫県企画県民部企画財政局市町振興課  
 平成23年 4月 総務省自治行政局行政課  
 平成25年 4月 同 自治財政局総務室人事係長 併任 予算係長  
 平成27年 4月 同 交付税課企画係長  
 平成29年 4月 同 自治税務局市町村税課住民税第二係長  
 平成31年 4月 現職

## 地域社会を支える「税」

### 全国民の「生活」に影響を与える

個人住民税は、都道府県や市区町村が提供する教育や福祉等の地域における様々な行政サービスのための貴重な財源となっており、その税収は約13兆円となります。個人住民税は、給料などの所得に対して一律10%を課税する仕組みですが、例えば、所得が一定金額以下の方を非課税とする仕組みや障害者がある家庭に対する負担軽減措置もあり、私たちの「生活」と密接に関係する税制度となっています。

個人住民税は法律に基づき、全国どこの都道府県・市区町村でもほぼ同じ仕組みで課税が行われており、法改正により制度を見直すこととなれば、その影響が全国に及び、ひいては全国民の「生活」に影響を与えることになります。

近年でも、未婚のひとり親に対する負担軽減措置の創設など、政治的な決断を伴う改正が行われており、そうした決断が適切な情報に基づき行われるようにすることも制度を担う私たちの役割です。

### 総務省だからこそその経験

当時学生だった私は、就職に当たって、とにかくスケールの大きな仕事に挑戦してみたい、地方行政に関係する仕事に携わりたい、という2つの希望がありました。そんな中、この「先輩からのメッセージ」や業務説明会を通じて、総務省は国と地方自治体の両方の立場で制度の企画・立案を行う他にない職場であるということを知ったことが、入省を志すきっかけとなりました。

実際に入省してから経験してきた仕事は、想像していた以上に刺激があるものばかりです。

その中でも特に印象的だったのは、ふるさと納税制度の見直しを経験したことです。行き過ぎた返礼品の問題が国会等でも指摘される中で、ふるさと納税の対象となる地方自治体を総務大臣が指定する新制度を設けることとなり、法律改正や国会審議への対応に当たりました。自分が担当している仕事の結果が新聞やニュース等で報道されると、大きな責任を感じるとともに、非常にやりがいを感じました。

## PRIVATE TIME

以前は家族でキャンプに出掛けるなど遠出をすることが楽しみでしたが、最近は家や近所で過ごすことが増えました。それでも、子ども達と一緒にゲームに熱中したり、近くの公園でキャッチボールをしたり、休日は仕事のことを一切忘れて、のんびり過ごしています。

Q 総務省の魅力はどのようなところだと思いますか？

A まず、地方自治体へ赴任する機会があることです。私は入省まもなく兵庫県庁へ赴任し、県庁職員として2年間勤務しましたが、そのときの経験が今も仕事に活かされていると感じます。また、省内の職場でも地方自治体から派遣された職員と一緒に仕事する機会も多く、そうして知り合えた方々と今でもSNSを通じて交流が続いていることは私の財産になっています。

また、多様な働き方が出来ることも魅力です。コロナ禍において在宅での勤務が増えましたが、総務省はテレワーク推進を掲げていることもあり、不自由なくテレワークに取り組むことができています。

Q 仕事をする上で、心がけていることは何ですか？

A スピード感をもって仕事をすることが求められるので、1人で抱え込まずに、上司や同僚に早め早めに相談するようにしています。また、気軽に仕事の相談をしやすい職場の雰囲気を作ることも大事だと考えており、仕事の合間に他愛ない雑談をする時間も大切にしています。



消防庁消防・救急課財政係長

## 山邊 賢一

Yamabe Kenichi

平成17年 4月 総務省採用 消防庁総務課  
 平成18年 4月 同 自治税務局市町村税課  
 平成19年 4月 福井県総務部市町村課  
 平成21年 4月 総務省大臣官房総務課  
 平成23年 4月 国土交通省都市・地域整備局離島振興課  
 平成24年 4月 同 国土政策局離島振興課調査係長  
 平成25年 4月 総務省自治行政局選挙部選挙課  
 選挙第三係長  
 平成26年 4月 同 選挙第二係長  
 平成27年 4月 同 自治財政局公営企業課出資法人係長  
 平成29年 4月 同 準公営企業室病院事業係長  
 併任 病院経営係長  
 平成30年 8月 伊万里市政策経営部長  
 令和 2年 4月 現職

## 危機に直面しているからこそ

## 災害、危機を見据えて

2011年3月11日、大地震と大津波が東日本を襲い、多くの人々の命、日常と故郷を奪いました。私も福島県被災地の出身です。あれから10年の歳月が経過しましたが、東日本大震災のあとも大地震、豪雨や台風による災害が何度も発生しています。そして、今、私達は新型コロナウイルス感染症という新たな危機のただ中にいます。

消防庁は、こうした災害や危機を未然に防ぐとともに、被害を最小限に抑えるため火災予防、消火、救急、救助など国民の安心・安全の担い手として消防防災体制の強化に取り組んでいます。今後発生が懸念される南海トラフ地震や首都直下地震で活躍が期待される緊急消防援助隊の整備、防災備蓄の充実や災害発生時には避難所運営、復興事業の実施。また、平常時の消防団などの地域防災力強化やコロナ禍の救急救命体制の充実にも取り組んでいます。これらを実行するため、災害、危機を見据えて必要な予算、財政制度を日々考えることが今の私の仕事です。

## ともに挑戦していける

人口減少・少子高齢化は日本が先進国で最も進んでいます。私達はこれからの時代の様々な変化、課題を何も答えがない状態で解決していかなければなりません。

私もこれまでに離島地域の振興、地域医療の確保、選挙制度改革、地方赴任など幅広い業務を経験してきました。こうした国と地方での経験を通じ、困難な状況に直面することも多くありましたが、それでも社会に貢献したいという民間人や意欲ある若者、高齢者、外国人などまちづくり、震災復興に挑戦する方々とともに働いてきました。みな自分の可能性を試せる場、活躍できる場を探しているのだと感じてきました。

何のために、どのように働いていけばよいのかと不安を感じている方もいると思いますが、何かに挑戦する人の背中を押しながら新しい制度や仕組みを考え、これからの新たな社会に向けてともに挑戦していける総務省の仕事は、危機に直面しているからこそ、より一層求められるのではないのでしょうか。

## PRIVATE TIME

運動など無理せずできることを継続することが、気分転換のためにやはり大事だと感じています。また、佐賀県伊万里市へ赴任した時は、友人達と軽登山に挑戦し、九州地方の壮大な山々や美しい海などの自然を直接肌で感じる魅力に改めて気づかされました。赴任地で新たな趣味を見つけることも楽しいはずです。



福島県双葉地区の訓練視察

## WEEK SCHEDULE

## MONDAY

緊急消防援助隊補助金など来年度の予算案を最終調整。消防庁長官に週末説明予定です。

## TUESDAY

テレワーク日。WEB会議システム活用で出勤時と遜色なく資料作成や上司への説明が可能です。

## WEDNESDAY

長官説明に向けた進捗の確認。明日は終日出張のため必要な調査、資料修正を指示します。

## THURSDAY

避難指示区域の福島県双葉地区の訓練を視察（日帰り）。消防体制や復興の実情も伺います。

## FRIDAY

福島の復興の実情も踏まえ長官説明を実施。予算に関する消防庁方針が決定されました。

